



GLOCAL(グロカ) 鳴北

時津町立鳴北中学校
令和7年度 学校だより No. 8
令和7年6月30日
文責 校長 山本将司

「時津っ子の心を見つめる」教育週間

毎年、6月下旬に県内の各小中学校で「心を見つめる教育週間」を開催しています。時津町内の中学校では、6月23日(月)～27日(金)までを「時津っ子の心を見つめる」教育週間(中学校)として、「命」や「生きる」ことをじっくり考える時間を持ちました。

23日(月)の校長講話では、楽しい夏休みを送ることや将来の夢や目標の実現のために、まずは自分も周りの人の命を大切にしてほしいことを話しました。

続く24日(火)は、全学年で命を見つめる道徳の授業公開と3年生を対象に高校説明会を行いました。この日はあいにくの雨で、校内の駐車場も十分に確保できないため、保護者のみなさまには来校の際にご足労をおかけしたと思います。それでも、たくさんの方々にお越しいただき、ありがたく思っております。

27(金)には生徒総会が開催され、前半はオンラインで、今年の生徒会がスローガンや活動方針を発表したり、各専門委員会の活動目標を確認したりしました。後半は、体育館に集合して、学校生活をより良くするための意見交換がありました。くつしたの色や登校時の服装について、それぞれの学級から意見が出され、今後どのようにしていくべきか、検討委員会に委ねることとなりました。

さらに、「地域から愛される鳴北中になるために」と題して、中学生として何ができるかについても、様々なアイデアが発表されました。清掃活動や学校行事への招待などの意見が出され、その実現におけた質疑応答もなされました。

生徒総会で出された意見は、今後、生徒たちが話し合いをさらに深めていきます。生徒たちが、このような話し合いをとおして、さらに成長していくことを期待しています。



【道徳の授業風景】



【高校説明会の様子】



【生徒総会 前半(オンライン)】



【生徒総会 後半(体育館参集)】

時津町被爆80年記念事業「平和を奏で・語り・伝える」

今年は、長崎と広島に原爆が投下されて80年の年です。時津町では、去る6月21日(土)にカナリーホールで記念事業が開催され、オープニングで鳴北中と時津中の吹奏楽部が合同演奏を披露しました。また、時津町のご出身でノーベル平和賞を受賞された日本原水爆被害者団体協議会の田中重光さんのお話やお笑い芸人による原爆体験を基にした伝承漫才などがあり、改めて戦争の悲惨さと恒久平和の大切さを感じる貴重な時間を過ごしました。本校でも、平和集会に向けて、平和についての学びをさらに深めていく予定です。

